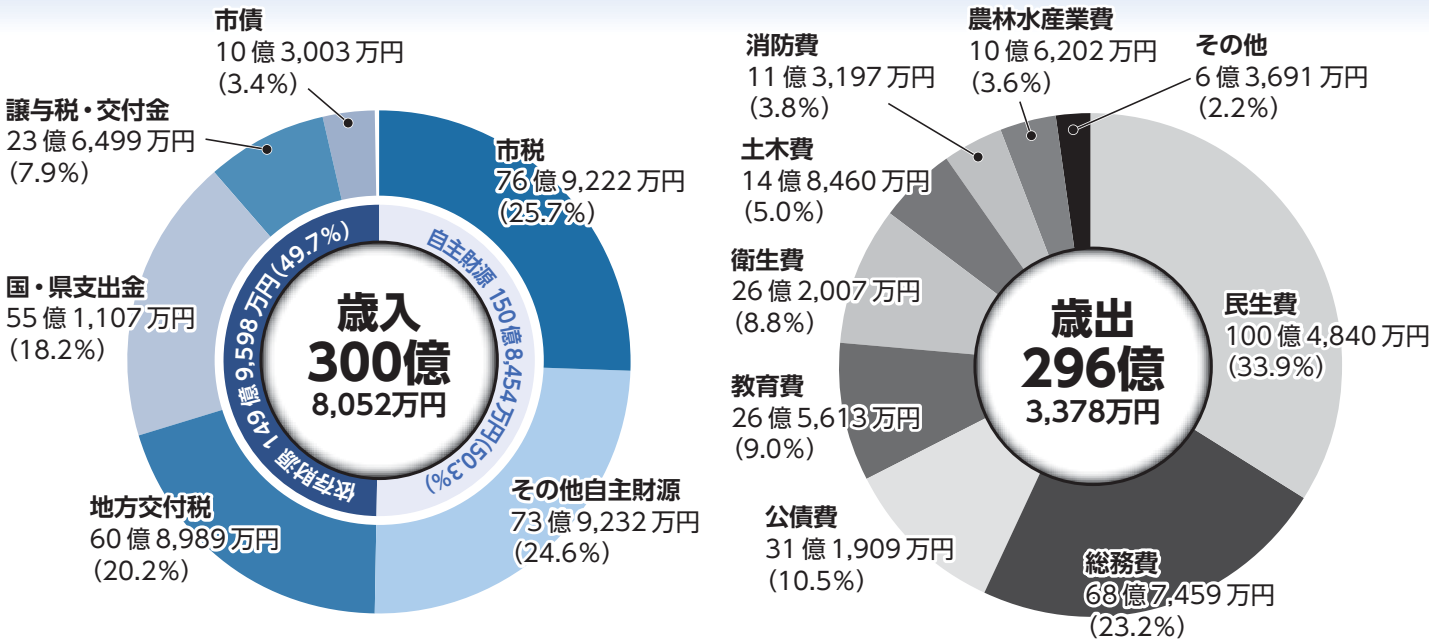
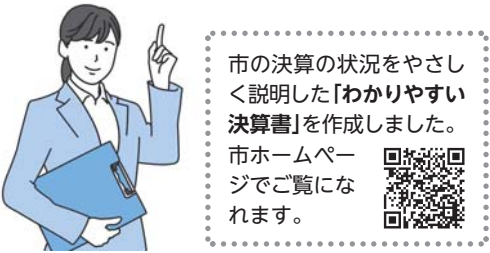


一般会計 福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。



歳入と歳出の差額はどうするの？

翌年度事業の財源に使われるほか差額の1/2以上は財政調整基金(自由に使える市の貯金)に積み立てられます。令和6年度末の財政調整基金残高は20億1,218万円となっています。



用語の説明

- 民生費…障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
- 総務費…財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金
- 公債費…市が借り入れた借金などの元利償還金
- 教育費…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
- 衛生費…ごみ処理、環境保全、予防接種などのために使われるお金

公営企業会計 地方公営企業法が適用される事業として区別されます。水道事業・病院事業・下水道事業を行う会計です。



企業会計名		収入	支出
水道事業	収益的収支	22億9,686万円	22億1,226万円
	資本的収支	3億2,274万円	10億5,044万円
病院事業	収益的収支	7億9,271万円	8億3,843万円
	資本的収支	1億8,158万円	3億5,331万円
下水道事業	収益的収支	16億1,139万円	15億6,814万円
	資本的収支	4億4,093万円	10億3,976万円

※資本的収支の差は、各企業会計で留保している資金で対応しました。

特別会計 特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計です。



区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	73億2,064万円	72億8,512万円
介護保険事業	67億7,899万円	67億4,432万円
後期高齢者医療事業	10億 141万円	9億9,894万円

令和6年度一般会計の決算の内容は？

問 財政室 ☎ (24) 8926

決算

令和6年度は、約4億円の黒字を確保することができました。市の貯金(財政調整基金)は、一時は25億ほどまで積み上がりましたが、最終的には、収支調整のため、5年ぶりに5億円を取り崩さなければならませんでした。1年間の収支だけを見ると、2億8千万円ほどの赤字が生じています。安定した財政運営のため、一定程度、財政調整基金を確保する必要があります。ふるさと納税などを有効活用し、人口減少などの課題解決、地域産業の活性化や子育て支援の充実など将来への投資も進めていきます。

銚子家(市)の家計簿

年収602万円の家計に例えると…

収入		令和5年度と比較して…	支出		令和5年度と比較して…
現金収入合計	538万円	(23万円)	生活費合計	376万円	(43万円)
給料(市税)	154万円	(△4万円)	食費(人件費)	110万円	(2万円)
親からの援助(地方交付税、譲与税・交付金、国庫支出金、県支出金)	278万円	(2万円)	医療費(扶助費)	112万円	(3万円)
パート収入(諸収入、使用料・手数料)	31万円	(0万円)	光熱水費など雑費(物件費、補助費等)	150万円	(37万円)
お年玉(寄附金)	54万円	(40万円)	家、車などの修理代(維持補修費)	4万円	(1万円)
ローン(借入金)(市債)	21万円	(△15万円)	親せきへのお年玉(投資及び出資金)	3万円	(△6万円)
貯金の取り崩し(繰入金)	55万円	(38万円)	子どもへの仕送り(繰出金)	53万円	(2万円)
繰越金(繰越金)	9万円	(△3万円)	ローンの返済(公債費)	62万円	(0万円)
			家の小規模改築(普通建設事業費)	27万円	(△25万円)
			貸付(貸付金)	8万円	(4万円)
			貯金(積立金)	64万円	(40万円)
収入合計	602万円	(58万円)	支出合計	593万円	(58万円)
貯金残高	93万円	(9万円)	余り	9万円	(0万円)
			ローン残高	435万円	(△39万円)

市債現在高

市の借金

市債(学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金)の令和6年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で350億9,601万円。地方交付税として算入される額を除くと、市が実質的に負担する額は168億4,219万円で、全体の48.0%となっています。

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は54位と最下位、将来負担比率は50位です。依然として、厳しい財政状況が続いています。

▶ 公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。

会計名	令和6年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市(各会計)の実質負担額(1)-(2)	実質負担割合
一般会計	217億4,683万円	139億1,306万円	78億3,377万円	36.0%
水道事業会計	48億9,974万円	1億7,843万円	47億2,131万円	96.4%
病院事業会計	7億1,128万円	2億8,200万円	4億2,928万円	60.4%
下水道事業会計	77億3,816万円	38億8,033万円	38億5,783万円	49.9%
合計	350億9,601万円	182億5,382万円	168億4,219万円	48.0%

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.79%	20.0%
▶ 一般会計の赤字割合	—	12.79%	20.0%
連結実質赤字比率	—	17.79%	30.0%
▶ 市の全ての会計の赤字割合	—	17.79%	30.0%
実質公債費比率	—	—	—
▶ 借金の返済がどれ位負担になっているか	14.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	—	—
▶ 将来世代にツケを先延ばししていないか	59.5%	350.0%	基準なし